

ミニ講座 郷土を知ろう

『高瀬日記と遠賀町』

『高瀬日記』は「大宰管内志」を書き記した筑前の国学者・伊藤常足の門人で中間村総社宮の神職・伊藤保親が書いた紀行文です。遠賀町の地誌・景観を記しているこの記録について楽しく語っていただきます。初めての方にもわかるように解説していただきますので奮ってご参加ください。

●6月19日(日)13:00~14:00

●遠賀町立図書館 多目的室

●申し込み:図書館カウンター・電話で
5月22日(日)より受付開始

●定員 20名※先着順



講師：水口 ^{みずぐち} ^{ひとし} 一志さん

【講師プロフィール】
福岡県文化財保護指導委員・遠賀町文化財保護委員・中間市文化財専門委員。
旧遠賀郡を中心に郷土史を研究。
遠賀町立図書館では、毎月第1・3日曜に郷土史相談コーナーを開催中。また特集コーナーで「遠賀町おもしろ郷土史」を毎月紹介している。

申し込み・問合せ先:遠賀町立図書館 Tel093(293)9090